

社  
説

組織にして一般の施政は勿論、鐵道事業の如きも軍人の手に一任して其成績著を見る可きものあり臺灣の經營も軍人組織にて達支なし否な是非とも其組織にせざる可らずとの説などもあるよしなれども西伯里の開拓は事ら軍事上の目的に出づるものにして露國にては之が爲めに莫大の費用を奢らず汲々として只其目的を達するに勉むるふとなれども我國の臺灣に於けるは大に事情特殊にするものあり鷲地の既に版圖に歸したる以上は四國九州も開拓にして萬一の場合に之を守るの必要は敢て本國に譲らず寸歩も他の蹂躪を許さるの決心肝要にして軍事上の施設固より等閑に付す可らずと雖も亦同鳥を割裂せしめたる本來の目的は殖産興業の利潤爲國の富源に資するが爲めにして兵備は只萬一に備えるのみ屏蔭が西伯里の事を擧げて一切軍人の手に附し如何なる困難費用をも辭せずして只管南進の路を開かんとするものと同様に見る可きに非ざれば單に其例に倣ふて他を見ざるが如き本來の目的に反するものと云はざるを得ず或は内議既に武官説に決定したりと云ふ其如何を知らざれども斯る窮屈不通の説は斷然排斥し實際に人物を得るを第一とすべきのみ戰後の經營云々と云ふ中にも臺灣は戰勝の形見とも見る可きものにして經營の最も急なるものなり然るに着手以來殆んど三年、一事の見る可きものなしとわりては例外に對して申説けある可らず區々たる異議に頓着せずして大に決断すべきものなり

# 一府六縣大進會

物で耽く  
堀井卯之助

## ○工場巡視記

卷八

三

非常に低廉なるを以て之が爲め本物の妨害となるのみを僅職して爾來此種の鐵造を駆みたるの結果、今や自家の女工のみによりて立派なる鐵造を輸出するに至り余が同工場を一覽したる際一女工の手にせるものは嚴島經卷に擬へ遼闊に千鳥の飛翔せる機械を輸出したる實に稀に見る處のものなり歸京の後斯業に經驗ある人に就て質すに足利の繡絵中精巧なるものは西陣に比して殆ど遜色なく加ふるに價格低廉なりと云へり此一事以て足利の機業家が能く高等品の製鐵に堪へるを知り得べく今後益々改良せんには西陣と匹敵し東西相競争して我國の鐵物界に一生面を開く日あるべし余は足利機業家の此點に就て充分研究する處あらんを断ると同時に内地向の鐵物と輸出品の製鐵とを全然區別せんふどを望むものなり

足利の機業家中輸出鐵物を專業とするものは漸く三四に止り其他は内地向鐵物を兼業するもの頗る多し蓋し前項にも記したる如く我國鐵物の大華主たる米國市場は盛衰常ならず一たび需要を喚起せば深く價格の高低品質の良否を問ふに暇あらざるにより此時に際しては内地向鐵物に從事せる機業家も忽ち輸出品を製鐵し果ては粗製濫造を始め少しく輸出品の増積して新注文の社絶するに當りてや又元の内地向鐵物の製鐵に復するを以て東西の窓匠相交換し之が爲めに鐵物の牌價を落すふと少なからず東西窓匠の相異なるは尙ほ其人種に於けるが如くして殆ど正反對に出づる場合少なしとせよ例せば彼は華麗を主とし我は優美を好むが如きの相違わりて鐵器着色總て其趣を異にせるに拘はらず兩者を競衡せる機屋は知らず識らず之を混交するに至るは自然の數なれば其結果一方には歐米市場の聲價を陥落し一方には内地人の嗜好に背くに至るべし般無遠からず前年桐生に於て起つたる恐慌の如きは並し其過剰なるべし右は畢竟機業家の一時に輸出向鐵物に熱中し同品の市場に進襲したる上に粗製濫造の多かりしによるものにして殊に又内地向精巧品の鐵造に熟練したる職工の一たび他の機業に移るや折角に得たる熟練の功を失ふふとならしとせよ彼此相對照すれば其間の損失決して少々にわらず今や足利地方にありては内地向高級品の鐵造稍々盛なんらんと一方には歐米鐵器品の注文積繁たるふと既に記載する所ありたるが如し兩者の分業一日も餘にすべからざるなり

## 良家の

るを覺ゆ未だ工場の實況を觀察したる所を報道せらるゝが如しと雖も本來一班を報道して讀者の事にも非ざるべし